

**観賢** 真言宗の僧。東寺長者。金剛峯寺・醍醐寺座主。般若寺を創建。空海に弘法大師号。東寺を核に宗組織を再建した。

かんげん

・ ・ ・ ・ ・ 854 = 生。讃岐国の人。俗姓は伴氏(一説に秦氏)。

人民摂政の実 858 = 4歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 863 = 9歳 :

**応天門の変** 866 = 12歳 : 醍醐寺の開創者聖宝に、その奇才を見いだされて、京に連れられ、

・ ・ ・ ・ ・ 868 = 14歳 : 真雅の室に入り、  
貞観格 869 = 15歳 : 出家。  
十八契印・両部大法を受法し、

**藤原良房没** 872 = 18歳 : 東大寺で具足戒を受け、  
南都にとどまって三論・法相の蘊奥を究め、興福寺維摩会の竖義を務めた。

・ ・ ・ ・ ・ 881 = 27歳 :

宇多天皇即位 887 = 33歳 :

基経関白辞任 890 = 36歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 895 = 41歳 : 官符を賜わり、東寺灌頂院において聖宝から伝法灌頂を受けた。

時平左大臣 899 = 45歳 :  
・ ・ ・ ・ ・ 900 = 46歳 : \*仁和寺別当となり、鳴滝に般若寺を創立。弘福寺別当・東寺凡僧別当も兼任。

**菅原道真左遷** 901 = 47歳 : 仁和寺円堂三僧に任ぜられ、  
莊園整理令初 902 = 48歳 : 権律師。  
道真没 903 = 49歳 : 弘福寺別当に重任され、

古今和歌集 905 = 51歳 : 律師。  
・ ・ ・ ・ ・ 906 = 52歳 : 益信の死闘のあとをうけて、東寺三長者となり、

・ ・ ・ ・ ・ 908 = 54歳 : 牽毅に替わって二長者。  
藤原時平没 909 = 55歳 : \*聖宝の入寂により、一長者となる。  
・ ・ ・ ・ ・ 910 = 56歳 : 東寺灌頂院において宗祖空海の御影供を始修し、後世恒例となる。少僧部に任ぜられ、灌仏の導師を務め、  
神泉苑で孔雀経法を修する。  
・ ・ ・ ・ ・ 912 = 58歳 : 法務。

・ ・ ・ ・ ・ 915 = 61歳 : 神泉苑に祈雨法を修し、20口の僧に各度者1人を賜わった。  
・ ・ ・ ・ ・ 916 = 62歳 : 権大僧都。

・ ・ ・ ・ ・ 917 = 63歳 :  
**高麗建国** 918 = 64歳 : 東大寺検校。空海に讓号を賜わらんとしたがかなわず、  
・ ・ ・ ・ ・ 919 = 65歳 : \*神泉苑に祈雨法を修し、醍醐寺初代座主・金剛峯寺4代座主に任ぜられる(以後、金剛峯寺座主職は東寺長者の兼帯するところとなる)。真然によって高野山に持ち出されていた空海請来の「三十帖策子」を東寺経藏に回収し、永く東寺長者が守護すべき官符を賜わった。

・ ・ ・ ・ ・ 921 = 67歳 : 再度奏請して、「弘法大師」の識号を賜わり、報告のため高野山奥の院の靈窟を開いて空海の尊顔を拝し、醍醐天皇下賜の御衣を献じたと伝えられ、大師の入定信仰が興ることになる。

道真本官復位 923 = 69歳 : 大僧都。  
・ ・ ・ ・ ・ 925 = 71歳 : 沓定等4人に伝法灌頂を伝授、\*権僧正に昇り、没した。  
著書に「檜尾口訣」「三昧耶戒式」「東寺最初具支灌頂記」などがある。